

31.7 FLEX NETWORK 高速カウンタユニットに I/O を割り付けよう

31.7.1 FLEX NETWORK の機種設定

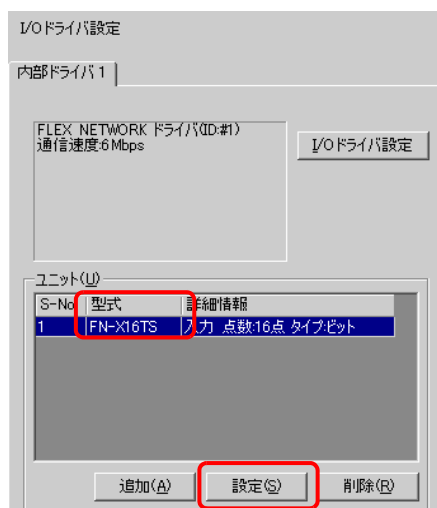
GP と接続する I/O ユニットが FLEX NETWORK の場合は、ユニット設定で使用する機種をします。また、I/O ユニットの追加して複数台接続することもできます。

FLEX NETWORK 高速カウンタユニットの機種と占有局数

種類	型式	点数	占有局数
高速カウンタ	FN-HC10SK41	-	4 局

設定手順

- 1 現在設定されている I/O ユニットを選択し、[設定] をクリックします。

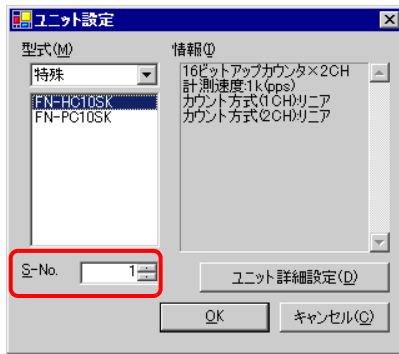


- 2 [ユニット設定] のダイアログボックスが表示されます。機種を変更するときは、I/O ユニットの [型式] を選択します。(例：種類 [特殊]、型式「FN-HC10SK」)



- MEMO**
- 左上のメニューから I/O ユニットの種類を選択できます。
 - 右側には選択した I/O ユニットの仕様の詳細が表示されます。

3 [S-No] を接続した I/O ユニットで設定した S-No と同じ番号に設定します。



MEMO • S-No は 1 ~ 63 まで設定でき、同一の FLEX NETWORK 内で S-No を重複させることはできません。

☞ 「FLEX NETWORK 高速カウンタユニットの機種と占有局数」(31-34 ページ)

4 I/O ユニットの詳細を変更するときは、[ユニット詳細設定] をクリックします。

5 [ユニット詳細設定] ダイアログボックスが表示されます。設定を変更し、[OK] をクリックします。

MEMO • ユニット詳細設定については、次を参照してください。

☞ 「31.7.3 FLEX NETWORK 高速カウンタユニットの設定ガイド ユニット詳細設定」(31-39 ページ)

6 [ユニット設定] ダイアログボックスで [OK] をクリックすると、変更した内容が反映されます。

S-No	名前	詳細設定
1	FN-HC10SK	16ビットアップカウンタ×2

7 I/O ユニットを追加する場合は、[追加] をクリックします。表示された [ユニット設定] ダイアログボックスで手順 2 ~ 6 と同様に詳細を設定します。

MEMO • 他の種類を追加する場合は、それぞれの説明を参照してください。

☞ 「31.4 FLEX NETWORK DIO ユニットに I/O を割り付けよう」(31-15 ページ)

☞ 「31.5 FLEX NETWORK アナログユニットに I/O を割り付けよう」(31-22 ページ)

☞ 「31.6 FLEX NETWORK 位置決めユニットに I/O を割り付けよう」(31-29 ページ)

8 FLEX NETWORK の機種設定が完了したら、I/O 端子にアドレスを割り付けます。

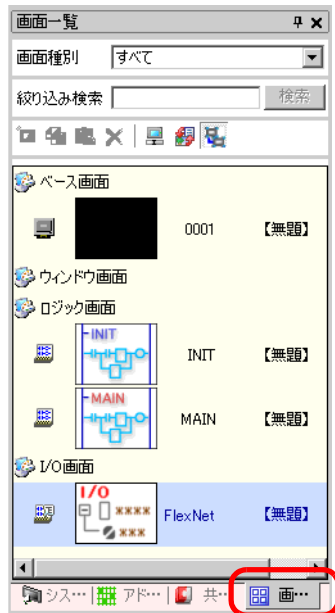
MEMO ☞ 「31.7.2 FLEX NETWORK 高速カウンタユニットの I/O 端子について」(31-36 ページ)

31.7.2 FLEX NETWORK 高速カウンタユニットの I/O 端子について

I/O 画面を表示し、FLEX NETWORK 高速カウンタユニットの I/O 端子にアドレスを割り付けます。

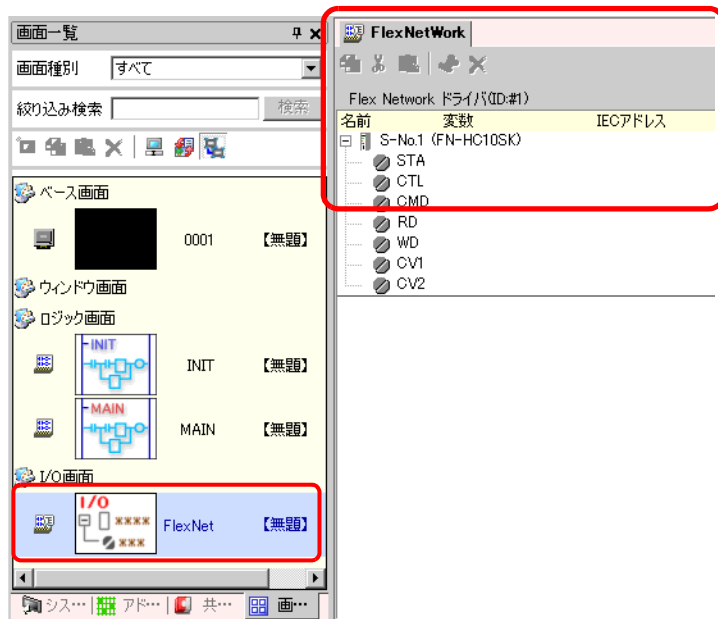
I/O 画面の表示方法

1 [画面一覧] ウィンドウのタブを選択して [画面一覧] ウィンドウを開きます。

**MEMO**

- ワークスペースに [画面一覧] タブが表示されていない場合は、[表示 (V)] メニューから [ワークスペース (W)] を選択し、[画面一覧ウィンドウ (G)] を選択します。

2 [I/O 画面] をダブルクリックすると、編集画面に I/O 画面が表示されます。



MEMO

• I/O 端子にアドレスを割り付ける方法については次を参照してください。

☞ 「31.1.2 設定した各 I/O 端子にアドレスを割り付ける方法」(31-5 ページ)

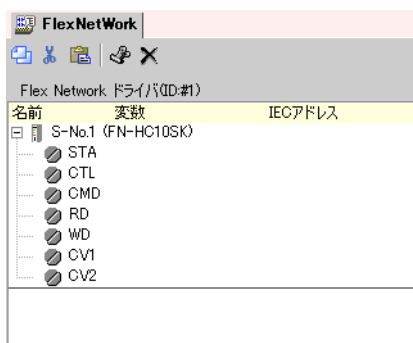
I/O 端子の動作






アドレスを割り付けた I/O 端子は、次のような動作をします。

- コマンドの読み書きによってデータ値を設定し、カウンタを動作させます。
- コマンドの詳細は「高速カウンタユニットユーザズマニュアル 5.1 FLEX NETWORK ドライバの設定」、「高速カウンタユニットユーザズマニュアル 5.2 データ設定」を参照してください。
- I/O ユニットに電断が発生した場合は、ドライバは I/O ユニットの電断を認識し、電源が再投入されると通信を再開することができます。

31.7.3 FLEX NETWORK 高速カウンタユニットの設定ガイド

I/O 画面



設定項目		設定内容
コピー		変数を選択してクリックすると、コピーできます。
切り取り		変数を選択してクリックすると、切り取りできます。
貼り付け		コピーや切り取りでクリップボードにコピーされた変数を貼り付けできます。
編集		変数を選択してクリックすると、変更や新規登録できます。
削除		変数を選択してクリックすると、削除できます。
名前		端子の ID 記号が表示されます。
変数		端子に割り付けられたアドレスが表示されます。
IEC アドレス		I/O アドレス (IEC アドレス) が表示されます。

ユニット詳細設定



(FN-HC10SK)

設定項目	設定内容
タイプ	[16 ビットアップカウンタ × 2]、[32 ビットアップカウンタ]、[32 ビットアップダウンカウンタ] から選択します。 初期設定は [16 ビットアップカウンタ × 2] に設定されています。
計測速度	計測速度を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [タイプ] を [16 ビットアップカウンタ × 2]、[32 ビットアップカウンタ] に設定したときは、[1K]、[10K] から選択します。 初期設定は [1K] に設定されています。 ・ [タイプ] を [32 ビットアップダウンカウンタ] に設定したときは、[ラインドライバ] または [オープンコレクタ] から選択します。 初期設定は [ラインドライバ] に設定されています。
パルスカウント方式	パルスカウント方式を [1 相 1 通倍 (50Kpps)]、[1 相 1 通倍 (200Kpps)]、[2 相 1 通倍 (50Kpps)]、[2 相 1 通倍 (200Kpps)]、[2 相 2 通倍 (25Kpps)]、[2 相 2 通倍 (100Kpps)]、[2 相 4 通倍 (12.5Kpps)]、[2 相 4 通倍 (50Kpps)] から選択します。 初期設定は [1 相 1 通倍 (50Kpps)] に設定されています。
カウント方式	[リニア]、[リング]、[周波数] から選択します。 カウント方式の詳細は「高速カウンタユニットユーザズマニュアル 4.2 各種機能」を参照してください。

Memo